



ローコストとは思えない オシャレなアイランド

白を基調としたさわやかなキッチン。既製品のベーシックなタイプを用いることでコストを抑え、天板のみオリジナルで製作。レンジフードも壁付け専用タイプを天井から吊ったもので、通常のアイランド型用レンジフードの半値以下！

リビング南側を見たところ。一室空間でありながらさまざまな場所で自由に過ごせるのが魅力。「子供のお友達も、この家で遊びたいって、よく遊びに来るんですよ」(奥さま)



a
Simple
Style

シンプル&箱形の
ローコストハウス

●本体工事費 **1945万円**
●設計=古川達也
●神奈川県・逗子市/石塚さんの家
●家族構成/夫39歳 妻36歳
長男9歳 二男2歳

周囲の豊かな自然を取り込み、 仕切りのない大空間でのびのび暮らす

シンプルにつくって
建主の生活スタイルに
合った住まいを実現

休日には、家族4人でサイクリングを楽しむというアウトドア派の石塚さん一家。山に囲まれ、目の前に緑が広がるこの土地を見たとき、夫妻は購入を即決。趣味のマウンテンバイクを思う存分楽しめ、子供たちも元気に育つ環境です。

設計の依頼を受けた古川達也さんは、建主が気に入った敷地の環境を最大限に生かすため、眺めのいい北側を全面開口とした2階リビングの家を提案。北側には室内と連続する広いバルコニーも設置され、外部との一体感が楽しめる開放的な空間になっています。隣家が迫る南側は上部に開口とバルコニーを設けて、採光と通風を確保。開口部には既製のサッシを用いることで、コストを抑えているのもポイントです。

ワンルームの2階LDKは、仕切りを省くことでコストを抑えつつ、お洒落な空間を実現。余分な家具もなく、大工工事によって製作されたテーブルや長椅子、キャスター付き収納を移動させることにより、「大人数の宴会のときは、長椅子を組み合わせてテーブル代わりに。寺子屋風に並べて、英会話教室も開く予定です」と、空間を自在にアレンジして、生活を楽しんでいるのが印象的です。また、マウンテンバイクのガレージと連続した1階の個室は、壁ではなく建具で仕切ることにより、将来の変化にも対応します。



緑豊かな周辺環境を 邪魔しない、墨色の外観

(左) ガルバリウム鋼板を用いたシンプルなお外観は、玄関ドアもサッシも墨色で統一。敷地内の既存の樹木(ハクモクレン)は、シンボルツリーとして生かしています。(右) 目の豊かな環境を取り込むように、大きく開放した北側外観



サイクルガレージを兼ねた ひろびろとした玄関

建主の当初からの要望だったマウンテンバイク用のガレージは、玄関と兼用することでスペースを有効活用。床はモルタル仕上げでコストダウンをはかり、さらに1階の床も、ガレージの延長と考え、汚れに強く安価な塩ビシートを採用

個室は壁で仕切らず、 建具の工夫で将来に対応

(左)1階子供室から主寝室を見たところ。2室は建具で仕切ることができ、さらに子供室も、中央に間仕切りを設けて2つに分けられるようになっています

(下)主寝室の収納は、扉を省き、カーテンで収納ごと隠しています



a
Simple
Style

高窓から景色を取り込む、明るい洗面&バスルーム。浴室の壁には、リフォームに用いられるバスパネルを採用。目地がないのでカビの心配も少なく、何よりリーズナブルな価格が魅力



隣家を気にせず、気持ちよく洗濯物を干せる南のバルコニー。天気のいい日は、ごちそうを食へるのも楽しそうです



吹き抜け上部の南側の 窓から光と風を導きます

隣家が隣接している南側は、上部に開口とバルコニーを設置。プライバシーを守りつつ、光と風を導いています。夏はスノコを通した柔らかな光が室内に落ち、冬は太陽光が直接、リビングに入って室内を暖めてくれます



ワンルームでもLDKには
居心地のいい場所がいっぱい



SUCCESS POINT

素材を統一し、シンプルかつ上品に仕上げる

周辺環境を重視して設計された石塚邸では、仕上げも必然的に外部環境を生かす素材で、なおかつ安価なもの採用されています。たとえば、内壁には通常は下地材として用いられる構造用合板を採用していますが、木目を生かした塗装により、周囲の自然ともなじむ、ナチュラルかつ上品な仕上がりになっています。

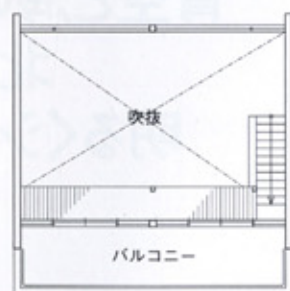
また、リビングのテーブルや椅子、収納などは素材をそろえ、まとめて製作することでローコストに。テーブルの天板は既製の板を2枚つなげたのですが、つなぎめにスリットを設けることでホットプレートなどを使う際に便利になり、デザイン性もアップ。ローコストには、アイデアと遊び心も大切なのです。

素材も色も統一することで、上品なインテリアに。シンプルなオープン棚も、ローコストながらオシャレな雰囲気を演出しています

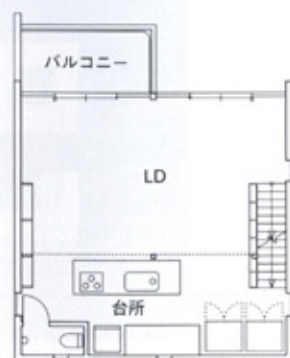
DATA

敷地面積 / 117.55㎡ (35.62坪)
 床面積 / 116.53㎡ (35.31坪)
 1 階 / 57.44㎡ (17.41坪)
 2 階 / 50.81㎡ (15.40坪)
 P H 階 / 8.28㎡ (2.51坪)
 用途地域 / 第1種低層住居専用地域
 建ぺい率 / 50%
 容積率 / 100%
 構造 / 木造軸組工法
 工事費計 19,450,000
 3.3㎡単価 551,000
 竣工 / 2005年3月
 ■設計 / 古川達也
 (古川都市建築計画)
 〒231-0837 神奈川県横浜市中区
 滝之上38-4 ☎045-623-8994
 ■施工 / 辻本工務店
 ☎045-891-7172
 撮影 / 村角創一 取材・文 / 松浦美紀

PHF



2F



a
Simple
Style

敷地北側に広がる畑やその向こうの公園、さらに向こうの山並みまで一望できる2階リビング。北面は全面開口で、居室の延長としてバルコニーも設置。自然が身近な空間です



オリジナルの家具で空間を自在にアレンジ

友人や親類、子供の友達など、何かと人が集まる石塚邸では、可動家具(テーブル、長椅子、収納ボックス)を用いて、人数や目的に合わせて空間を変化させています(右上)テーブルの両サイドに長椅子を2つずつ並べた通常のパターン(右下)英会話教室などの際には、長椅子を机代わりに並べて教室風に(中上)長椅子を産床代わりに使ってパー

ティ仕様に(中下)長椅子を縁台代わりに。バルコニーでお茶を楽しむのにも利用(左上)キッチン脇のキャスター付き収納を移動して、リビングの一角を仕切ると客間のでき上がり。子供が熱を出したときは、ここに寝かせると目が届いて安心(左下)収納ボックスでキッチンと仕切り、学習コーナーに